

# 四日市旧港 まちあるきMAP

**ぐるっと近鉄一周コース 約8.1km**

近鉄四日市駅から旧港までを巡るコースです

**ふらっとJR一周コース 約4.1km**

JR四日市駅から旧港までを巡るコースです



徒歩での目安  
およそ3時間30分



自転車での目安  
およそ2時間



徒歩での目安  
およそ1時間45分



自転車での目安  
およそ1時間

## 四日市港で撮影された

### 映画のロケ地を巡ってみよう!



「日本が一番悪い奴ら」ロケ地

1 MICCHI! AUTO SERVICE

2 旧四日市港管理組合庁舎

©2016「日本が一番悪い奴ら」製作委員会

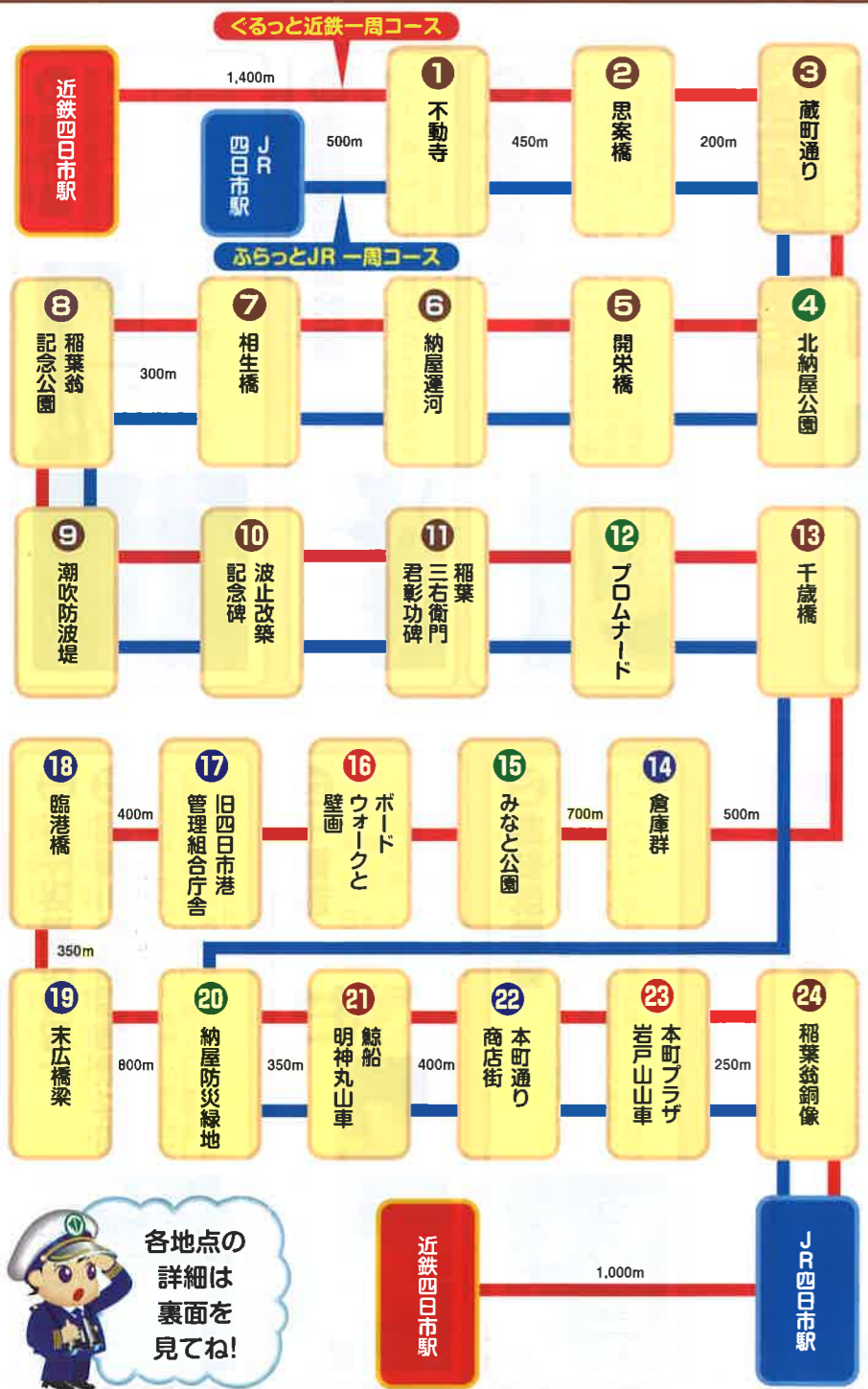


「さらばあぶない刑事」ロケ地

3 千歳町倉庫

4 第3ふ頭岸壁

©2016「さらばあぶない刑事」製作委員会



**自転車レンタル**

近鉄四日市駅北自転車等駐車場内 (059-357-2014)  
 近鉄四日市駅高架下観光案内所内 (059-357-0381)  
 JR四日市駅駅舎内 (059-357-2014)



# 歴史的資源

番号は裏面の地図上の番号に対応しています

## ① 不動寺

このあたりは四日市港の中心であり、竜の形をした松に灯明をつけて灯台代わりにした電灯松は、港の目印でした。寛永16年(1639)、摺袈川で大洪水があり、美濃国高須にある観音寺から「不動明王の像」が伊勢湾へ漂流し、四日市南納屋の漁師、井垣某の漁網にかりました。この地に縁のある御仏だらうと電灯松の下に御堂を建立し、祀ったのがはじまりだと言われています。



昔の不動寺

## ② 思案橋

徳川家康が本能寺の変を聞き、三河へ帰国する時、海路にするか陸路にするか思案に暮れたという故事から、この橋の名がつけられたと言われています。昔は思案橋の近くに四日市湊がありました。



## ● 潮呼橋跡

運河に架かっていた橋跡の記念碑です。この辺りの船溜まりは、満潮を待って舳(はしけ)が入り荷揚げをしていたことから、この橋の名が付けられたと伝えられています。



## ③ 蔵町通り

蔵町は納屋地区でも最も古く、最初に発展した町です。現在の蔵町は、なやプラザ(旧納屋小学校)の周りを囲むようにありますが、江戸時代初期には思案橋から港に続く通りの両側に蔵が建ち並び、町を形成していました。昔の写真では、手前に九鬼肥料店、奥には四日市銀行が見えます。



昔の蔵町通り

## ⑤ 開栄橋

相生橋の北に位置し、納屋運河に架かる開栄橋は旧蔵町と稲葉町を繋ぎ、思案橋に続く歴史ある橋です。昔の写真では橋を渡った左手に四日市郵便局があり、半鐘の脇には浜往還の松がみえます。



## ⑥ 納屋運河

昔の写真の対岸の白亜の洋館は四日市郵便局で、右奥には開栄橋、その向こうには倉庫がありました。



## ⑦ 相生橋

初代相生橋は明治23年(1890)、当時の袋町、高砂町両町民の負担で架けられた木橋でした。平成7年(1995)秋に完成した現在の橋は3代目で、夜になるとライトアップされ、屋間とは違った雰囲気を出し、地域の人々にも親しまれています。



昔の相生橋



## ⑧ 稲葉翁記念公園

四日市湊を修築して近代港湾への基礎を築いた稲葉三右衛門の偉業を記念して旧港の岸壁近くに作られた公園です。潮吹防波堤の仕組みを再現するレプリカ模型が展示されています。



## ⑨ 潮吹防波堤

稲葉三右衛門が築いた旧港が暴風雨によって大破したため、明治26年(1893)服部長七によって築かれました。長七は、波の力を弱めるため堤防の腹部に穴をあける工夫を凝らし、強度な人造石を発明し、堤防を造りました。平成8年(1996)国の重要文化財に指定されています。



昔の潮吹防波堤

## ⑩ 波止改築記念碑と ⑪ 稲葉三右衛門君彰功碑

波止改築記念碑は、防波堤改築を記念して明治27(1894)年に作られた碑です。稲葉三右衛門君彰功碑は、明治30年(1897)に建てられた顕彰碑です。これらは潮吹き防波堤とともに国の重要文化財に指定されています。



## ⑬ 千歳橋

大正15年(1926)に完成した、尾上町と千歳町(二号地)を結ぶ千歳橋は、昔は橋脚の本数が多く、オブジェもありました。



昔の千歳橋



## ⑭ 稲葉翁銅像

昭和2年(1927)、市制30周年記念事業として、近代港湾の基礎を築いた6代目稲葉三右衛門の銅像がつけられました。当時の像は戦時中の金属供出によって失われ、現在は昭和30年につくられた2代目です。



# 文化的資源

## ● すわ公園交流館 (旧四日市市立図書館)

昭和天皇の即位を祝う御大典記念事業として、熊澤一衛氏が昭和4年(1929)に建設し、図書2,000冊とともに四日市市に寄贈した図書館です。熊澤氏は伊勢電気鉄道の社長や四日市銀行頭取などを務めた四日市を代表する事業家でした。太平洋戦争末期に空襲による負傷者の収容施設に使われたこともありましたが、昭和24年(1949)に再び図書館として復活し、昭和48年(1973)に新図書館が完成すると一時空家となりましたが、昭和51年(1976)から児童福祉施設「こどもの家」となり、平成15年(2003)からは、すわ公園交流館として今日に至っています。



## ⑯ ボードウォークと壁面

約100メートルほどのボードウォークから様々な船を眺めることができ、壁面は地元高校生の手により平成8年(1996)4月に完成しました。



## ⑰ 鯨船明神丸山車

全長約8メートル、幅約2メートルの船型の山車で、屋形をもち、各所を金箔張りの彫刻と幕で飾り、船首部には大型の水押しと金糸の下がりを持つ、豪華な意匠の山車です。



## ● なやプラザ

廃校となった納屋小学校の建物を活用して、市民活動・生涯学習のための拠点施設として整備されました。



## ● 大入道山車

首を伸ばした時の高さ約7.6mに及び、わが国最大のからくり人形大入道の山車です。演技時には銅鑼と太鼓のリズムに合わせて首を長く伸ばし、首をもたげて舌を伸ばして目を向き、両手を前後に大きく振りまわります。もともとは諏訪神社の例祭である「四日市祭」に桶の町のだしものとして登場しました。桶の町は当時海岸に面した蔵の多い所で、埋が出たたび人々を驚かせたので、これを鎮めるために「大入道」を制作したと言われています。



※山車祭のため普段は山車を見学することはできません

## ● 菅公山車

菅公山車は、菅原道真の前で文字を書くこどもを表現したものです。実際に人形が文字を書くところが特徴です。こどもが顔に文字を書き、それを道真公に見せると褒められ、こどもたちは喜び、踊ります。



※山車祭のため普段は山車を見学することはできません

## ⑲ 本町プラザ

市民交流会館、男女共同参画センター、環境学習センターなどが集約した複合施設です。1階には、岩戸山山車と昔の写真が展示されています。



## ● 岩戸山山車

天孫受命命(アマノウズメ、日本神話に登場する女神)に化けていた狸が正体を現し、腹鼓を打ちながら壺が影れだすというユニークなからくり人形山車です。初代は幕末から明治にかけて作られたとされ、大入道と同じ人形師の作と言われています。



# 四日市旧港 まちあるきMAP

# 自然的資源

## ④ 北納屋公園

納屋運河を埋め立てて整備され、公園の南東部には船を停泊させる金具が残っており、運河の面影を感じることができます。



## ⑫ プロムナード

高潮氾濫の防壁前面平場を利用してカラー舗装化や安全柵、照明灯の設置を行い、旧港から千歳橋までの遊歩道として平成3年(1991)に整備されました。旧港を眺めながら散歩することができます。



## ⑮ みなと公園

四季を通じて市民に親しみを与え、物流と市民を極力分離することを目的として整備され、オーストラリア製レンガ舗装による園路、噴水やベンチ、トイレが設置されています。



## ⑳ 納屋防災緑地

幅約50m、全長約300mの南北に細長い防災緑地で、自然豊かなオープンスペースで、遊具なども整備されています。

